



國労せんたい

こくろうせんたい
FAX版

号外
2011年4月7日
発責 橋本 昭二
編責 武田 昌仙

東日本大震災

闘争団がボランティア活動に 全国連絡会議が決定

事務局など八名が石巻へ 自らの生活体制も危うい中で



東日本
大震災
災害対
策本部
発行の
編集長の
眼

4月4日付第43号では、今回の大震災について、闘争団全国連絡会議が、震災に対するボランティア支援を決めたと掲載されています。本当にありがたいことである。私自身も地本橋本委員長と被災地に赴いたが、安否確認と物資配達

は、今回の震災について、闘争団全国連絡会議が、震災に対するボランティア支援を決めたと掲載されています。本当にありがたいことである。私自身も地本橋本委員長と被災地に赴いたが、安否確認と物資配達

は、今回の震災について、闘争団全国連絡会議が、震災に対するボランティア支援を決めたと掲載されています。本当にありがたいことである。私自身も地本橋本委員長と被災地に赴いたが、安否確認と物資配達

は、今回の震災について、闘争団全国連絡会議が、震災に対するボランティア支援を決めたと掲載されています。本当にありがたいことである。私自身も地本橋本委員長と被災地に赴いたが、安否確認と物資配達

震災対策本部が激励

4日の地本の業務から

朝一番に札幌闘争団から支援カンパの申し出。東京地本からも支援カンパ送付の申し出が。午前中は昨日近畿地本からの支援物資の下着等を種類別、サイズ別に振り分け、必要とする方が選択しやすいように整理。その間、自動車支部の組合員

や退職された先輩が、物資を取りに来こられた。午後には本部高橋委員長と東日本本部高野委員長が激励の訪問。お見舞いと激励の言葉が寄せられた。四国地区本部からの阜上コンロとガスボンベと、本部として全国の支援カンパを地本に手渡した。また東日本本部からは激励として見舞い金が贈られた。

仲間のメール報告
ご苦労様です。私は3回出向きました。ガソリン・食料等の支援物資を手渡しました。感じた事は、人手が足りないということでした。3回目出向いたときは、職場の仲間を一人連れて行きました。一人よ

り二人と人数が多い方が支援する側もされる側も心強いもの

この次は家族で出向きます。現状を見せるとともに、被災者を元気づけたい気持ちです。(5日、山形連合分会の佐藤さんより)地震以降、初めて小牛田に来ています。駅のホームはアスファルトで綺麗に修理されています。本線には沢山の作業員が復旧工事をしています。今日から4便だけバスが石巻に行っています。まだまだガソリンなど不足しているようです。(5日、新庄連合分会の東海林さんより)

連絡

地方本部が支社に確認した内容によれば、罹災した社宅に入居の場合は、生活用品の貸し出しを受け付けること。具体的には電気釜、ガスコンロ、湯沸かし器、洗濯機を現場で申し込むこととしている。ただし、こうした時期であり、準備には時間を要すことを理解してもらつたのです。